

ユニットケア推進のためのチェックポイント

ユニットケアの理念は「暮らしの継続」です。

ユニットケアを実践していくためには、まず管理者（施設長）がユニットケアの理念と意義を十分に理解し、職員に浸透させることが重要です。

また、管理者は、ユニットケア施設管理者研修の受講に努めていただくほか、ユニットリーダー研修受講者をはじめとした職員をしっかりとサポートする役割が期待されています。

このたび、ユニット型施設を運営していく中で、最低限、留意いただきたいチェックリストを作成しました。一つひとつの項目には、それぞれ目的・意義があります。ユニットリーダー研修受講者等とともにその目的・意義について話し合ったうえで実践してください。

【体制づくり】

- 管理者は、ユニット型施設における基本方針（三重県特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例第 22 条等）を理解していますか。
- 管理者は、ユニットケアの理念や意義について、職員に浸透させていますか。
- なじみの関係が構築できるよう、職員はユニット毎に固定配置していますか。
- 勤務表は、ユニット毎に作成していますか。
- 入居者一人ひとりの好みや生活リズムを記載した「24H シート」（24 時間を基軸とした情報の整理）が作成されていますか。
- 「24H シート」が活用されているか、ケース記録で確認できる仕組みにしていますか。（「24H シート」とケース記録の連動）
- ユニット毎に自由に使える「ユニット費」が、ユニットの運営に活かされるだけ確保されていますか。
- ユニットリーダー研修受講者が、施設内で伝達研修を行う仕組みがありますか。

【しつらえ】

- 食事スペースとくつろぐスペースが、それぞれ空間として確保され、活用されていますか。
- 食卓は分散配置されていますか。
- テーブルや椅子の高さは、入居者の身体にあっていますか。
- 時計や掲示物は、入居者の目線に合わせた高さになっていますか。
- 居室には家具を自由に持ち込み、入居者にとって居心地のよい空間となるよう努めていますか。
- 入居者が使用する食器等は、持ち込まれていますか。
- 観葉植物や雑誌の配置等、家庭と同じようなくつろげる雰囲気づくりを行っていますか。

【ケアの実践】

- 起床、食事、排泄の時間等、入居者一人ひとりの生活リズムに合わせたケアを、しっかりとしたデータに基づき行っていますか。
- 炊飯や盛り付けはユニット内で行っていますか。
- 入浴は、できるだけユニット内個浴で、マンツーマン方式により行っていますか。
- 羞恥心やプライバシーに配慮した排泄ケアを行っていますか。
- 施設側の都合で、居室のドアを開けっ放しにしていますか。